



第58次観測隊員に インタビュー



58次越冬

おおえ ひろみ
大江洋文さん

医療（医療法人伸裕会渡辺病院）

（2016年7月現在）



南極では、どんな研究やお仕事をする予定ですか？

医師として隊員の健康管理を行います。

具体的には、けがや病気の隊員の治療、医療機器や医薬品のメンテナンス、越冬隊員の定期検診、隊員向けの救急医療の講習、飲料水の水質検査などを行います。

患者さんがいないときには他の隊員のお手伝いをします。54次で越冬した時には廃棄物の処理、基地内の電気設備工事、屋根の防水工事、古くなった建物の解体工事、ペンギンの調査、雪上車やその修理などのお手伝いをしました。



観測隊員に選ばれたときの気持ちをおしえてください。

54次隊参加以来、2度目の応募で、観測隊員としても比較的高齢だったため、今回は選ばれるとは思っておらず大変驚きました。再び南極で仕事をできる喜びとともに、責任の重大さを感じております。



観測隊員としての抱負をおねがいします。

本業で活躍することのないように隊員同士で安全に十分留意し、全員仲良く無事で帰国できるよう力を尽くしたいです。

私の南極へのあこがれのきっかけは、子供の頃に何かの本で南氷洋でのマッコウクジラとダイオウイカのたたかひの絵を見たことでした。小学生の頃は昆虫採集や星空をながめることに夢中になり、大人になってからは登山にのめりこみました。たくさん遊んで体を丈夫にして、たくさん本を読んでいろいろなことに興味を持って、少しはお勉強もして、自分の好きなことを見つけて、その道でりっぱな知識や技術を身につけてください。